

施設園芸産地における環境モニタリングデータ活用支援の取組手順書

【概要】

1 成果の内容

本資料は、施設園芸産地において、関係機関主導で環境モニタリングデータ活用※の取組を始め、徐々に生産者主体の取組へ誘導する場合の関係機関の支援手順を県内の先進事例を参考にまとめたものです。

取組手順書は、全体的な取組の進め方を示した「Ⅰ 施設園芸産地における環境モニタリングデータ活用支援の取組手順」、県内の先進事例の取組内容を記載した「Ⅱ 施設園芸産地におけるデータ活用の取組事例」から構成されています。

掲載した先進事例では、関係機関による支援体制を構築し、生産者が「自分の経験（データに基づいた栽培管理）」から学びを得る経験学習サイクルを回す取組を誘導したことで、生産者のデータ活用に対する理解醸成等が促進されています（図）。

※環境モニタリング機器によるハウス内環境データ、気象データ、生育調査データ等を分析し、栽培管理や経営管理の改善に活用すること。

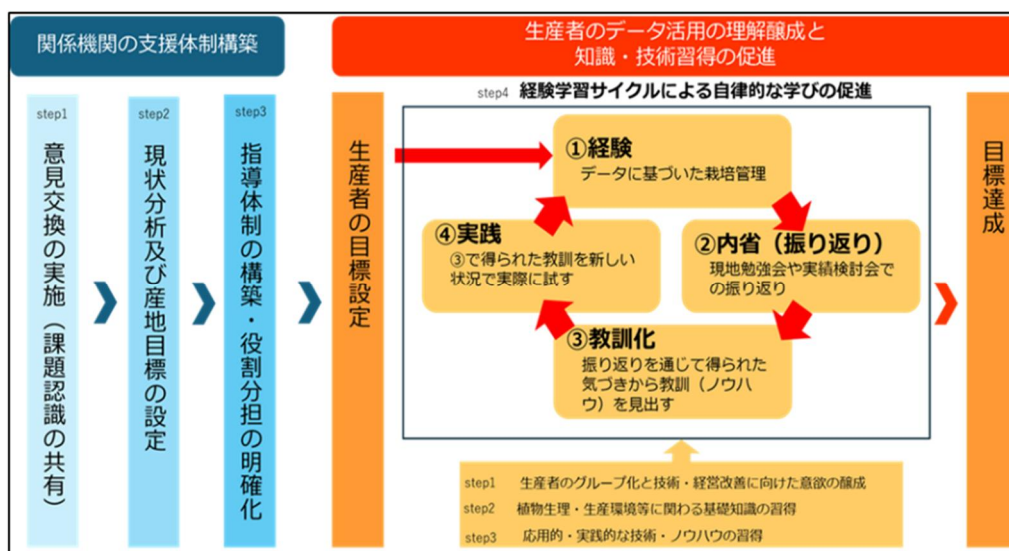


図 先進事例におけるデータ活用支援の取組

2 留意事項

データ活用の基礎知識の習得から始める場合は、データ活用の定着までには継続的な取組（事例では3年以上）が必要です。

【令和7年度成果】施設園芸産地における環境モニタリングデータ活用支援の取組手順書 (R7-指-30)